

2023年6月期 第2四半期

決算補足資料

前田工織株式会社

東証プライム:7821

目次

1. 2023年6月期第2四半期 決算の概要	3
2. セグメント別決算概要	9
3. 2023年6月期業績予想	15
4. MDKグループ中長期ビジョン グローバルビジョン∞ -PART I -	23
5. 会社概要	31



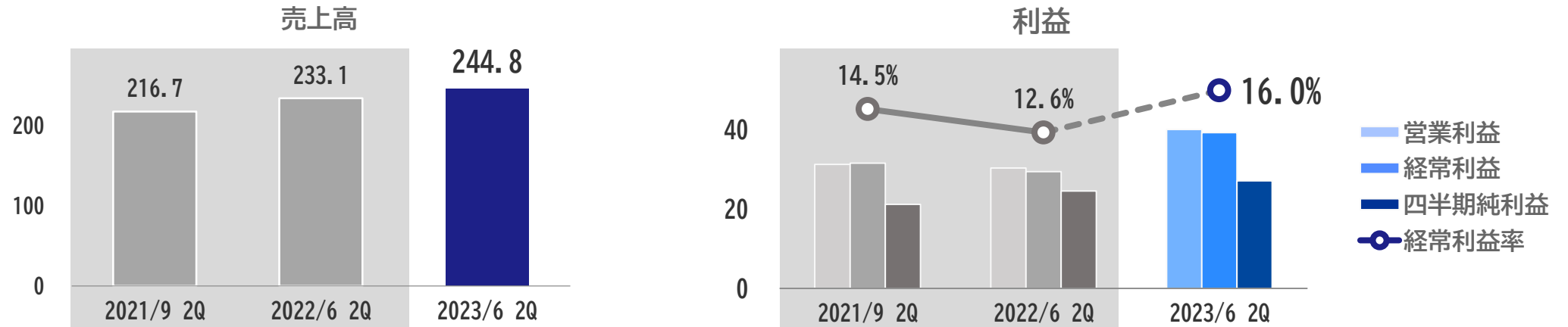
1

2023年6月期 第2四半期 決算の概要

決算ハイライト

- 決算期変更により比較対象期間が異なるため比較はできないが、**第2四半期までの連結ベースの業績は順調に推移している。**
- 全社的に、原材料価格や電気料金の高騰に対応した**「販売価格への転嫁」、「製造原価の削減」**により利益面は引続き堅調。
- 現中計の最終年度として、目標必達と次期中計に継続する**成長戦略のための地盤整備**(設備投資、営業体制強化等)**の進捗は順調。**

連結決算サマリ

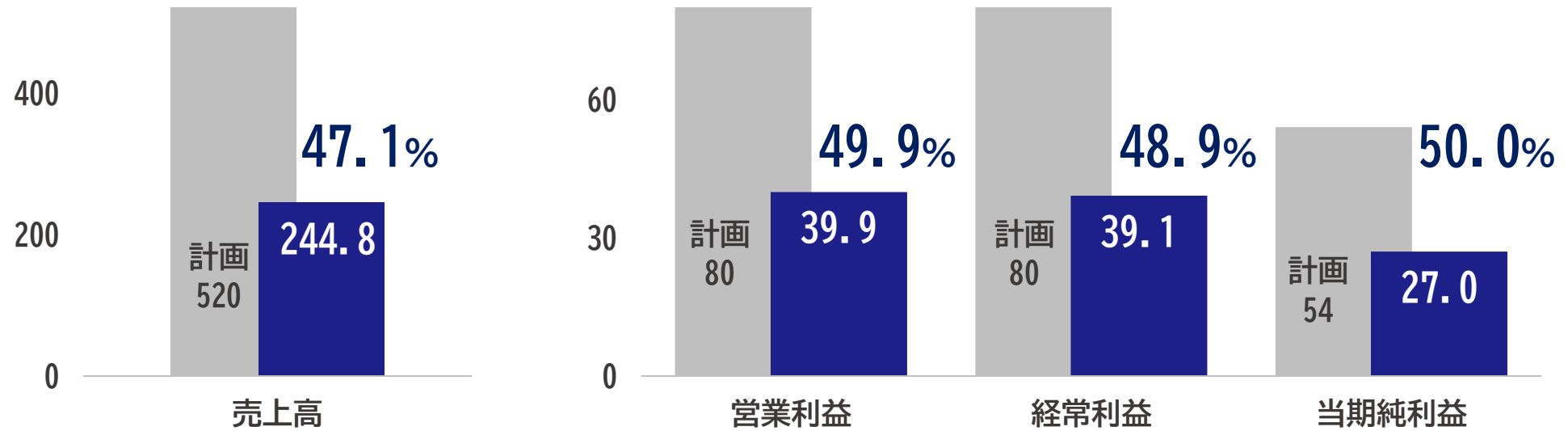


	2022/6期 2Q 実績	2023/6期 2Q 実績	売上比
売上高	233.1	244.8	—
営業利益	30.2	39.9	16.3 %
E B I T D A	44.5	54.7	22.4 %
減価償却費	14.1	14.7	6.0 %
経常利益	29.3	39.1	16.0 %
親会社株主に帰属する 四半期純利益	24.4	27.0	11.0 %



※決算期変更により、2022/6 2Qの実績は9/21~3/20、2023/6 2Qの実績は7/1~12/31となるため、各計数ごとの比較については記載しておりません。

計画と実績値との比較



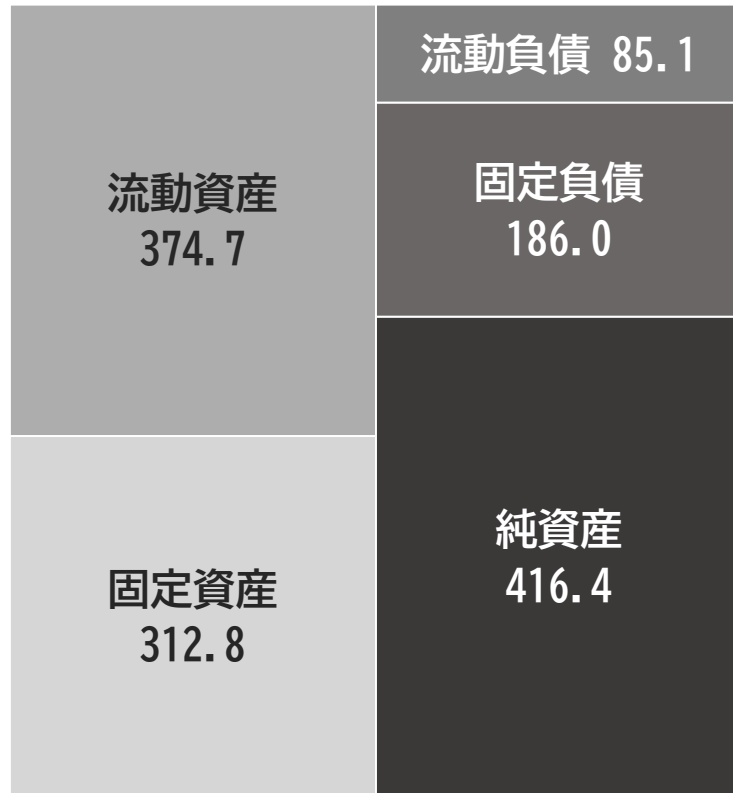
2023年6月期	2Q実績	2Q計画	達成率(対2Q)	通期計画	進捗率(対通期)
売上高	244.8	249.0	98.3%	520.0	47.1%
営業利益	39.9	33.5	119.3%	80.0	49.9%
E B I T D A	54.7	48.5	112.9%	110.0	49.8%
経常利益	39.1	33.5	116.8%	80.0	48.9%
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	27.0	23.0	117.5%	54.0	50.0%



※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれんの償却額

財政状態

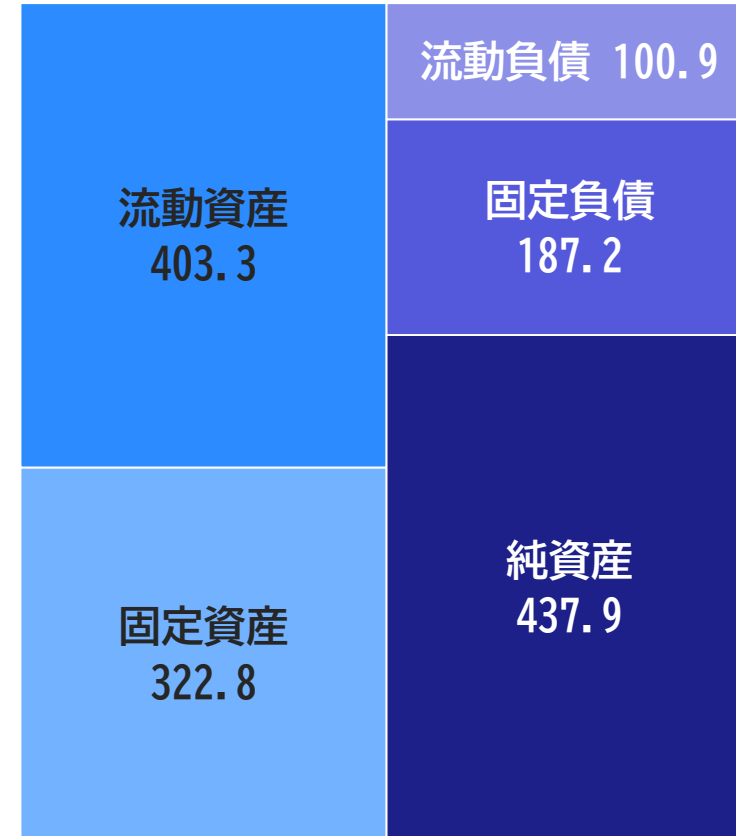
2022/6 期末 総資産 **687.6**億円



資産

負債・純資産

2023/6 期 2Q末 総資産 **726.2**億円



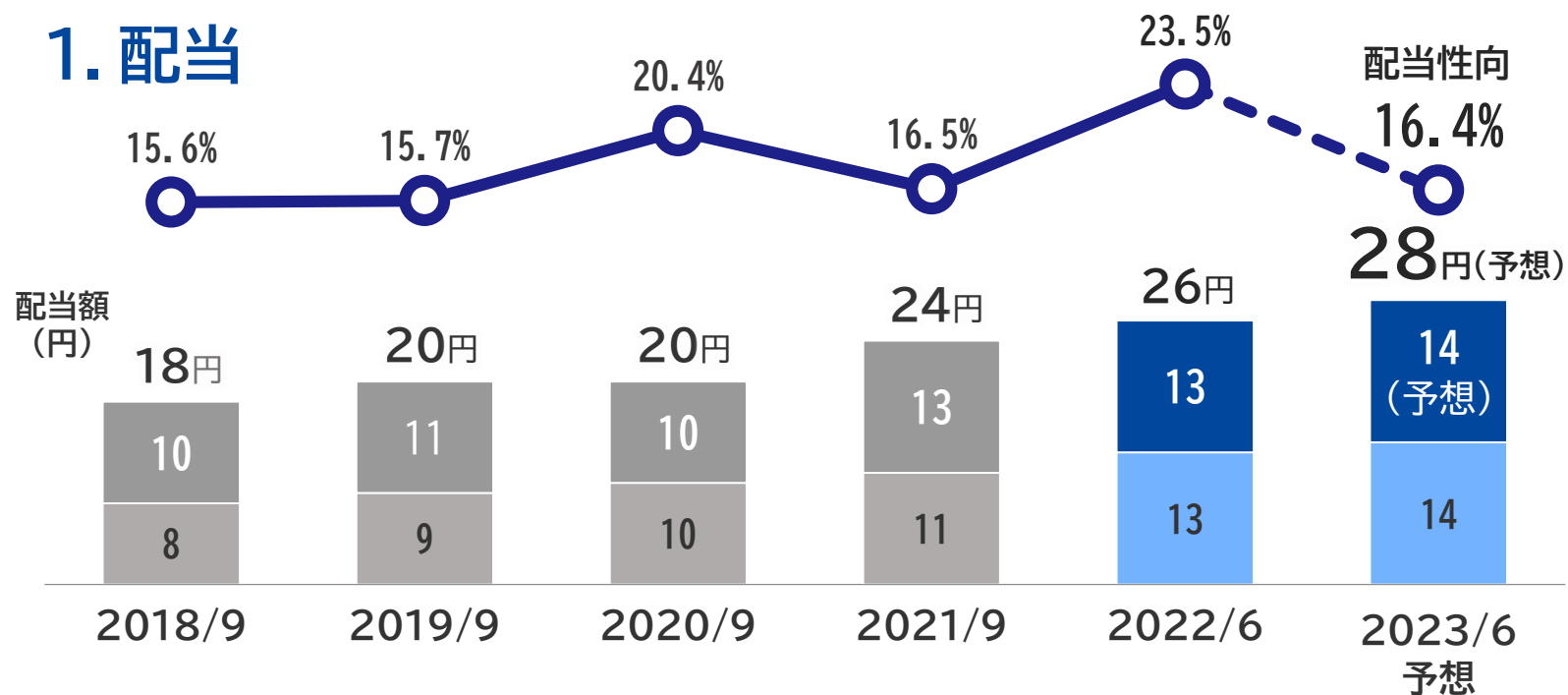
資産

負債・純資産



株主還元策

1. 配当



2023

- 中間 14円 (前年比+1円)
- 期末予想 14円 (前年比+1円)

- 通期予想 28円 (前年比+2円)

2. 自己株式取得のための自己株式公開買付け

帝人株式会社から1,200,000株の自己株式を取得

取得日	2023年1月23日	取得株式数	1,200,000株
取得価額の総額	3,241百万円	取得資金	自己資金



※決算期変更の経過期間となるため、2022年6月期は2021年9月21日から2022年6月30日までの9か月10日間となります。



2

セグメント別決算概要

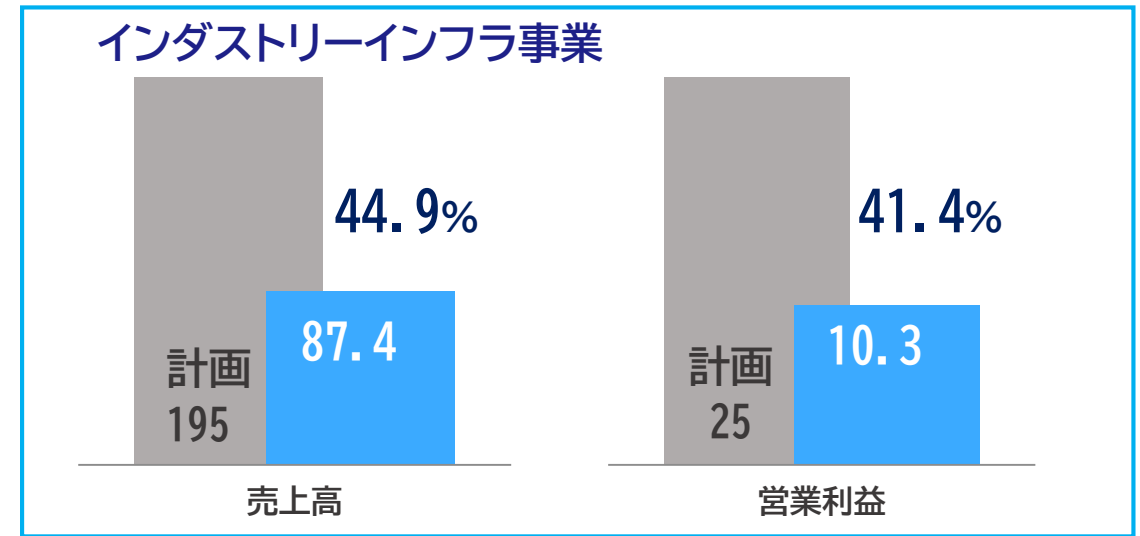
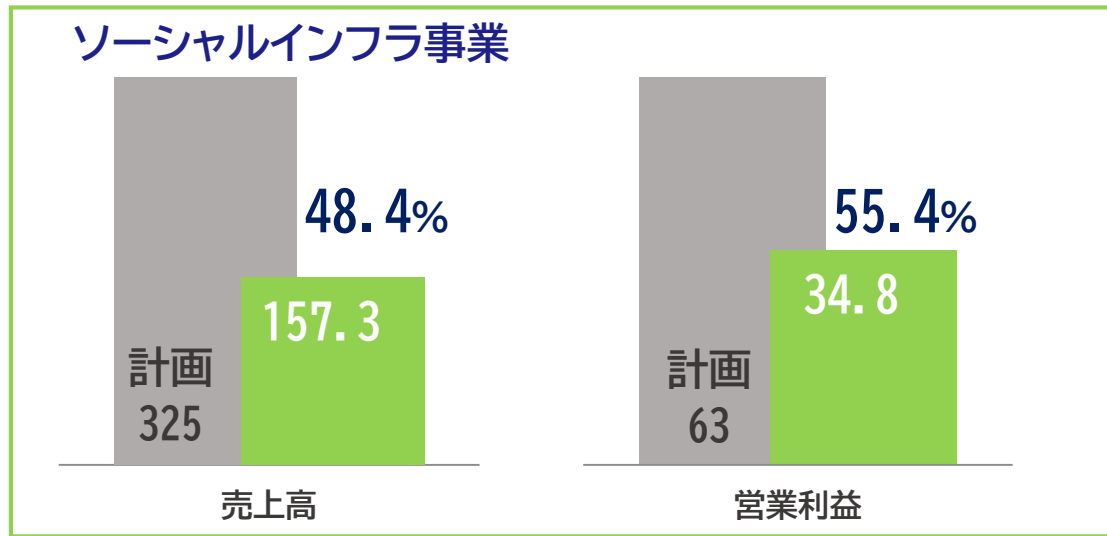
セグメント別決算概要

			2022/6期 2Q 実績	2023/6期 2Q 実績
ソーシャル インフラ事業	売上高		156.0	157.3
	営業利益		30.0	34.8
インダストリー インフラ事業	売上高		77.1	87.4
	営業利益		6.0	10.3
ヒューマン インフラ事業	売上高		—	—
	営業損失(△)		△ 1.0	—
全社・消去	営業利益		△ 4.7	△ 5.2
合 計	売上高		233.1	244.8
	営業利益		30.2	39.9



※決算期変更により、2022/6 2Qの実績は9/21~3/20、2023/6 2Qの実績は7/1~12/31となるため、各計数ごとの比較については記載しておりません。

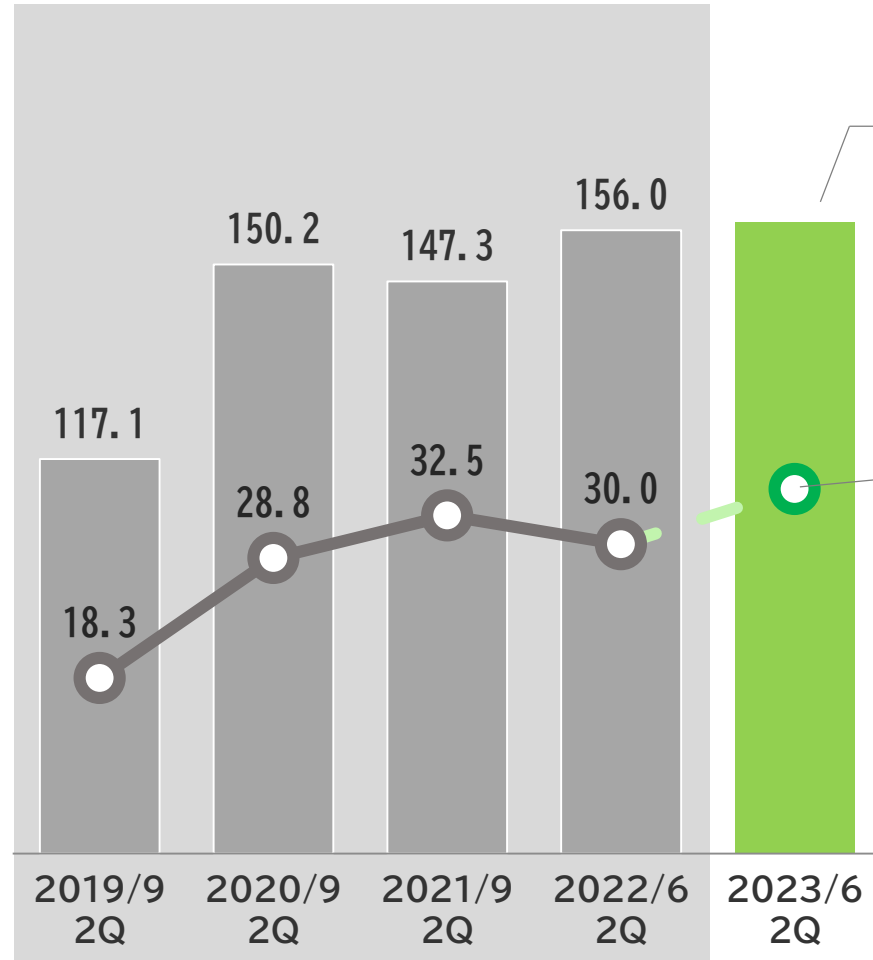
セグメント別計画に対する進捗率



2023年6月期

	売上高			営業利益		
	通期計画	2Q実績	進捗率	通期計画	2Q実績	進捗率
ソーシャルインフラ事業	325.0	157.3	48.4 %	63.0	34.8	55.4 %
インダストリーインフラ事業	195.0	87.4	44.9 %	25.0	10.3	41.4 %
全社・消去	—	—	—	△ 8.0	△ 5.2	—
合計	520.0	244.8	47.1 %	80.0	39.9	49.9 %

セグメント別業績概況－ソーシャルインフラ事業



売上高
157.3億円

営業利益
34.8億円

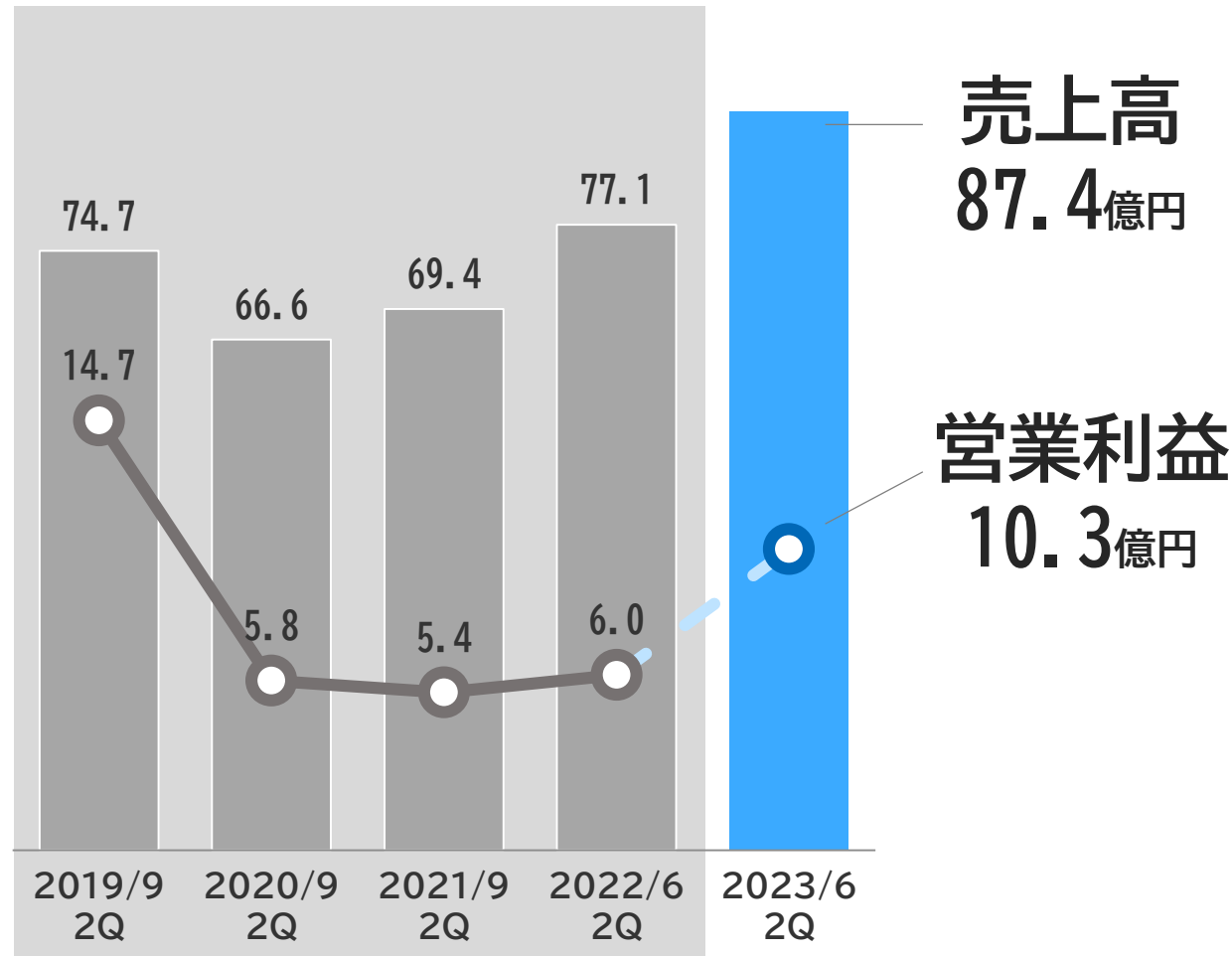
プラス要因

- 主たる事業である土木資材分野の業績は値上げ効果が徐々に浸透している。
- セグメント内の各子会社の業績も順調に推移している。
- 農業事業は、直近のM&A(エスケー電気工業)のシナジー効果により、業績堅調。

マイナス要因

- 土木資材分野のうち一部商材(補強土)は期ズレにより、上半期の売上高は未達。しかし、下期以降には回復見込み。
- 不織布事業はマスク関連の需要低下。
⇒来期以降は新分野でリカバリー。

セグメント別業績概況ーインダストリーインフラ事業



プラス要因

【BBS:ホイール事業】

- 国内OEM分野が下期にかけて回復見込み。
- ドイツ子会社の新工場稼働により業績向上。
- 「生産合理化プロジェクト」により、まずは、四日市工場(塗装工場)の合理化、生産効率アップにより利益率改善。

マイナス要因

- ホイール事業のうち、国内OEMはようやく回復見込みであるが、電力料金値上げ等、先行き不透明感がある。
- 未来コーセンにおいて、精密機器類の一部生産調整により、ワイピングクロスの上売が伸び悩む。

TOPICS – 東京オートサロン2023出展(BBSジャパン)



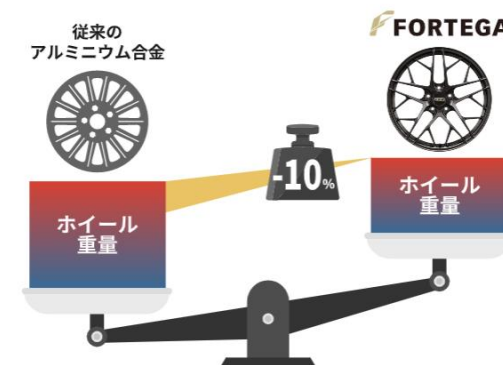
フォルテガ EV車向け新素材「FORTEGA」初披露

EV車…バッテリー、機能的付加物の追加により、
約20%重量化(ガソリン車比)

→ ホイールはガソリン車以上の剛性を求められる

アルミニウム合金新素材

FORTEGA



従来のアルミニウム合金に比べ
高剛性を保ちながら
重量約10%の軽減を実現

開催日	1月13日(金)~15日(日)
会場	千葉県 幕張メッセ
来場者数	約179,000名



3 2023年6月期 業績予想

通期業績見通しのポイント(施策)

◎全社

- ・原材料価格高騰、輸送コスト高、電気料金値上げへの対策
…**価格転嫁の浸透、生産効率向上のための積極的な設備投資**

◎ソーシャルインフラ事業

- ・公共工事…**国土強靱化・流域治水対応**、新規事業・海外展開
- ・各子会社…事業の拡大・強化による**収益増強**

◎インダストリーインフラ事業

- ・BBS…国内OEMのほか、アフター市場向け製品の販路拡大
ドイツ子会社の設備増強による業績貢献、工場内の生産効率化
- ・未来コーセン…値上げと原価低減に向けた**損益改善PJ推進**

◎その他

- ・**M&Aの実践**による業容拡大
- ・中長期的な**企業価値向上に向けた取組の実践**

業績予想(連結)

	2021/9期 通期実績	2022/6期 通期実績	2023年6月期	
			2Q実績	通期計画
売上高	432.3	369.0	244.8	520.0
営業利益	64.6	42.2	39.9	80.0
E B I T D A	96.1	70.2	54.7	110.0
経常利益	63.7	43.6	39.1	80.0
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	45.9	34.8	27.0	54.0



※2022年6月期は2021年9月21日から2022年6月30日までの9か月10日間となります。

業績予想(セグメント別)

		2021/9期 通期実績	2022/6期 通期実績	2023年6月期 通期計画
ソーシャル インフラ事業	売上高	277.6	226.3	325.0
	営業利益	59.9	40.3	63.0
インダストリー インフラ事業	売上高	154.7	142.6	195.0
	営業利益	18.5	10.4	25.0
ヒューマン インフラ事業	売上高	—	—	—
	営業損失(△)	△ 4.0	△ 1.0	—
全社・消去	営業利益	△ 9.8	△ 7.5	△ 8.0
合 計	売上高	432.3	369.0	520.0
	営業利益	64.6	42.2	80.0



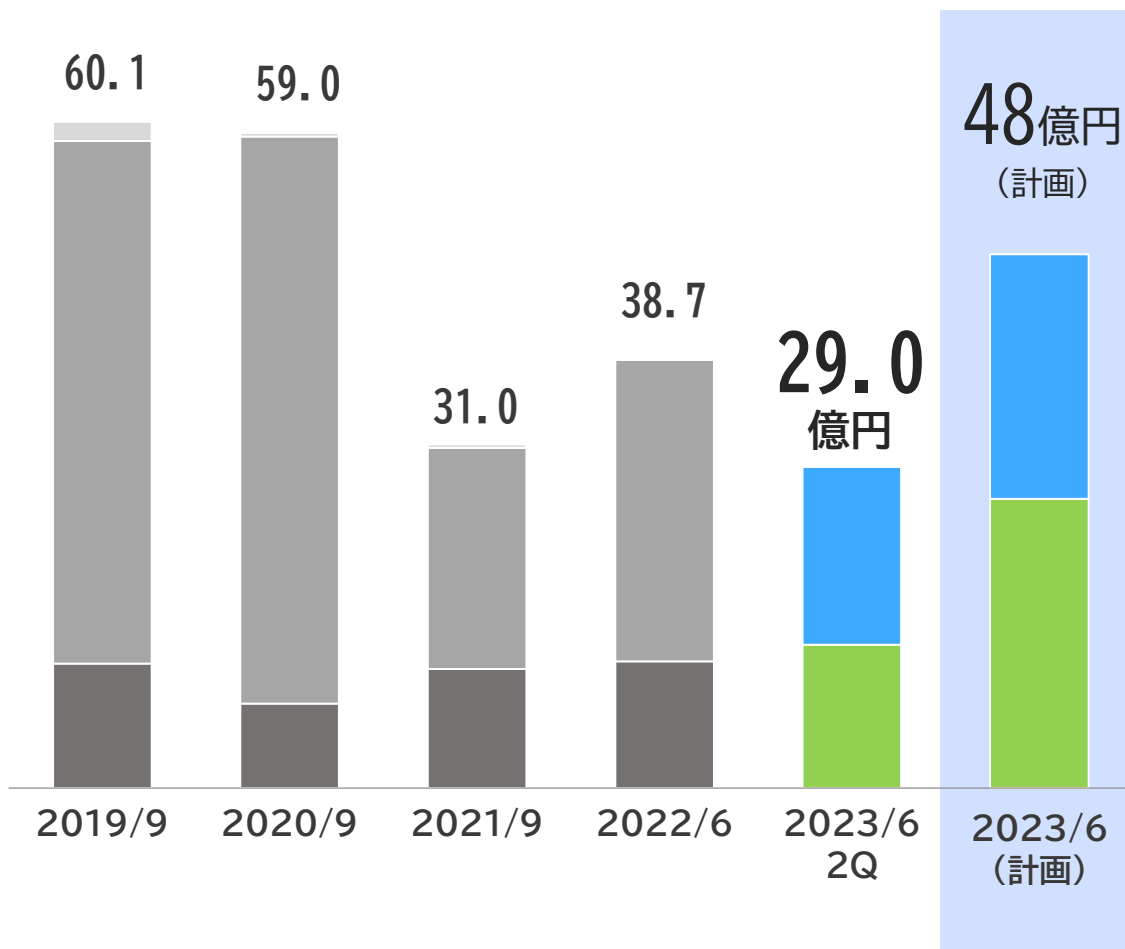
※2022年6月期は2021年9月21日から2022年6月30日までの9か月10日間となります。

設備投資額・減価償却費予想

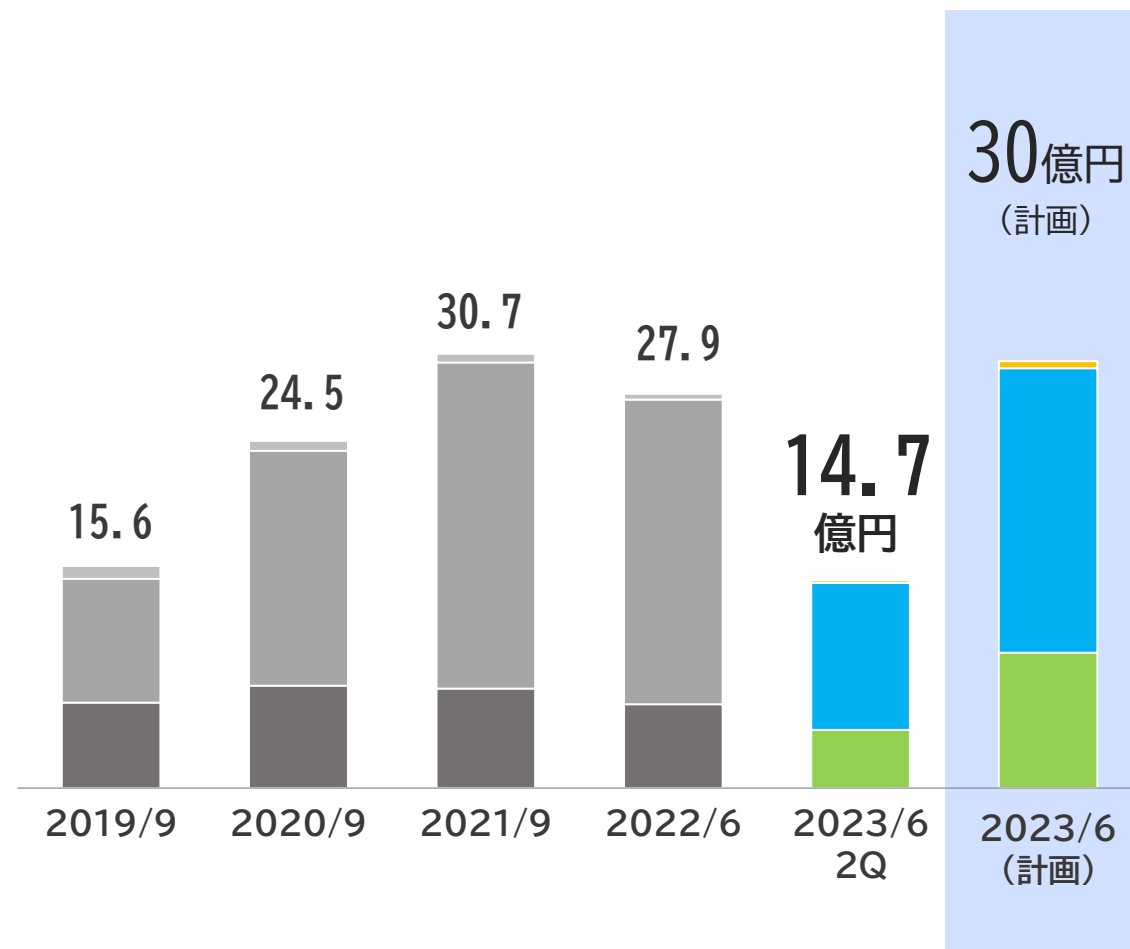
(単位:億円)

■ ソーシャルインフラ事業
 ■ インダストリーインフラ事業
 ■ 全社

設備投資額



減価償却費



※2022年6月期は2021年9月21日から2022年6月30日までの9か月10日間となります。

新工場建設(前田工織)

前田工織福井本社 第6工場完成

2023年3月下旬より稼働予定



※2018年撮影

床面積	8,200.80㎡
生産品目	土木資材

TOPICS – 企業価値向上に向けた取組と課題

1. 資本コストや株価への意識改革・リテラシー向上

取組 自己株式 1,200,000株取得(2023/1/23付) ⇒ 今後も資本収益性を重視
※PBR 2.24倍 (2022/12/31時点)

2. コーポレートガバナンス・コードの質の向上

課題 サステナビリティ・TCFDに基づく情報開示を推進

3. 英文開示の更なる拡充

課題 決算短信(全文)やIR説明会資料など、対象書類を段階的に広げていく

4. 投資家との対話の実効性向上

取組 オンラインでの対話手段も活用し、建設的な対話を四半期ごとに実施

TOPICS – カーボンニュートラルの実現に向けた継続取組

1. 太陽光発電システムの運用

現在の取組み

2024年までに年間約1,670 t (約24%)削減見込み

※前田工織 福井本社・坂井工場・丸岡工場 / BBSジャパン 四日市工場

今後の計画

他の工場にも順次設置 ▶ **削減率50%**を目指す

2. 産業廃棄物のリサイクルの強化

現在の取組み

約36.5%をリサイクル ※前田工織 福井本社工場・坂井工場・丸岡工場

今後の計画

リサイクル率**50%**を目指す

3. リサイクル原料を使用した製品づくり強化

現在の取組み

年間約21,000 t のCO₂排出量を削減

(廃プラ、再生ペレット、循環アルミなどを原料として使用)



4

MDKグループ中長期ビジョン

グローバルビジョン ∞
無限大

- PART I -

2020年9月期 ～ 2023年6月期

- ① 既存事業の強化と **新規事業進出**
- ② 成長戦略としての **M&A活用**
- ③ 新たなマーケットを求めるための
グローバルネットワーク拡充

グローバルビジョン∞ PART I 数値目標

- ① 決算期の変更による**最終年度の数値目標は変更せず**
- ② MDKメディカル株式会社の売却により、
ヒューマンインフラ事業としての**業績は未定**

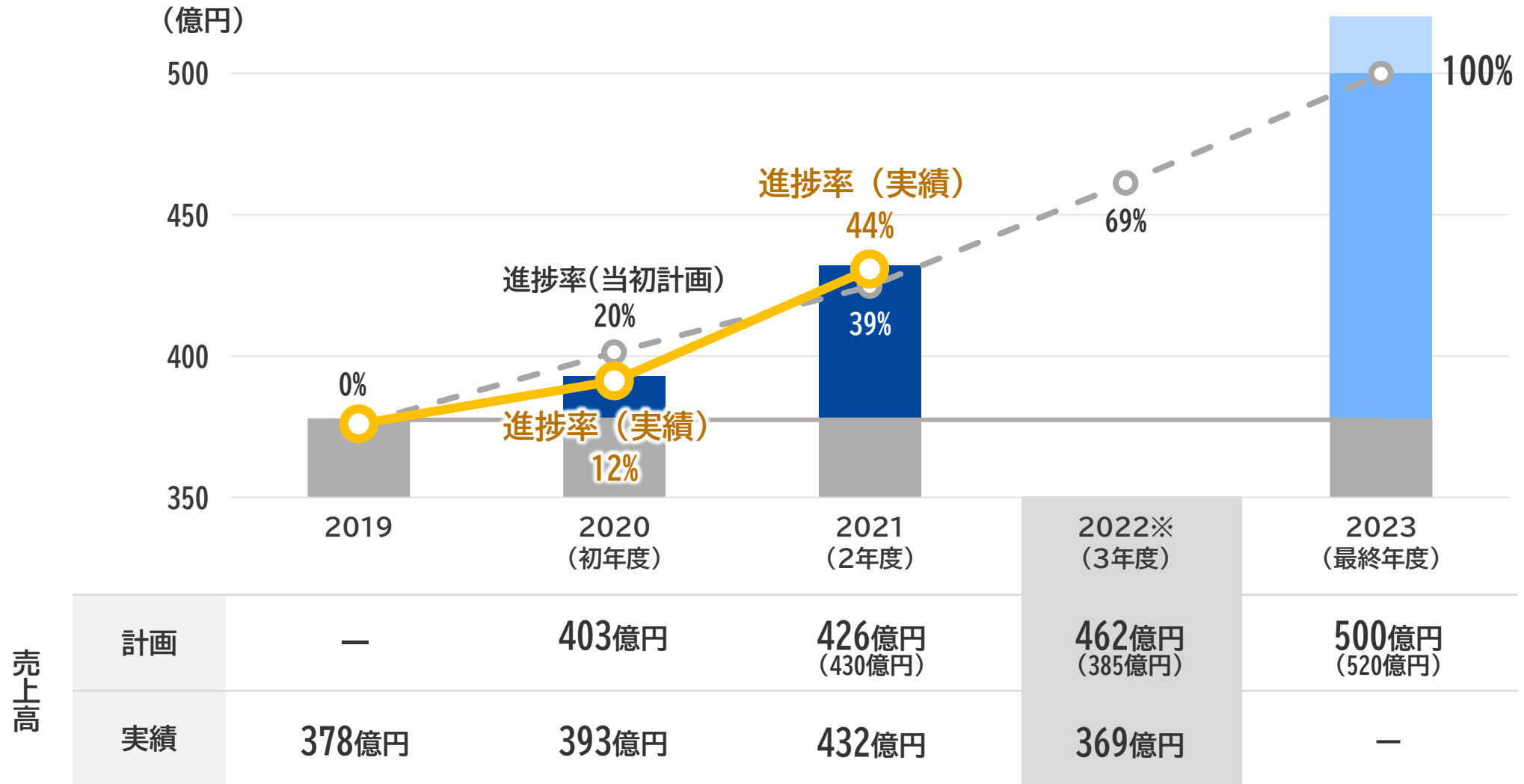
(単位:億円)

	2020/9期		2021/9期		2022/6期		2023/6期	
	実績	(目標)	実績	(当初目標)	実績	(当初目標)	目標	(当初目標)
売上高	393	(403)	432	(426)	369	(-)	520	(500)
EBITDA	71	(71)	96	(76)	70	(-)	110	(100)
営業利益	45	(45)	64	(50)	42	(-)	80	(80)
経常利益	46	(45)	63	(50)	43	(-)	80	(80)
親会社株主に帰属する 当期純利益	30	(33)	45	(37)	34	(-)	54	(54)



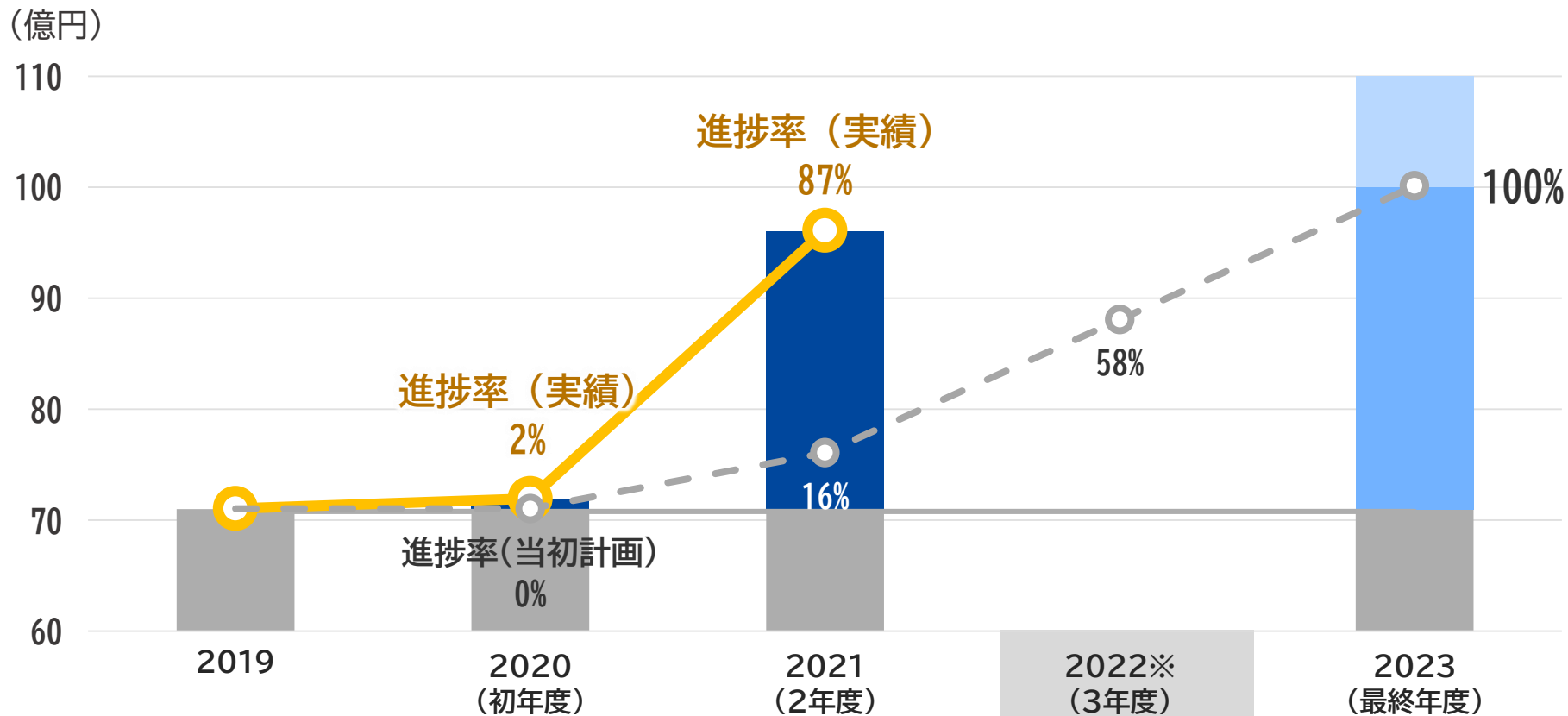
※2022年6月期は、決算期変更により当初目標の12か月間から9か月10日間に変更しているため、当初目標については記載しておりません。

グローバルビジョン∞ PART I 売上進捗率



※()は変更後計画
 ※2022年6月期は、決算期変更により当初目標の12か月間から9か月10日間に変更されております。

グローバルビジョン∞ PART I EBITDA進捗率

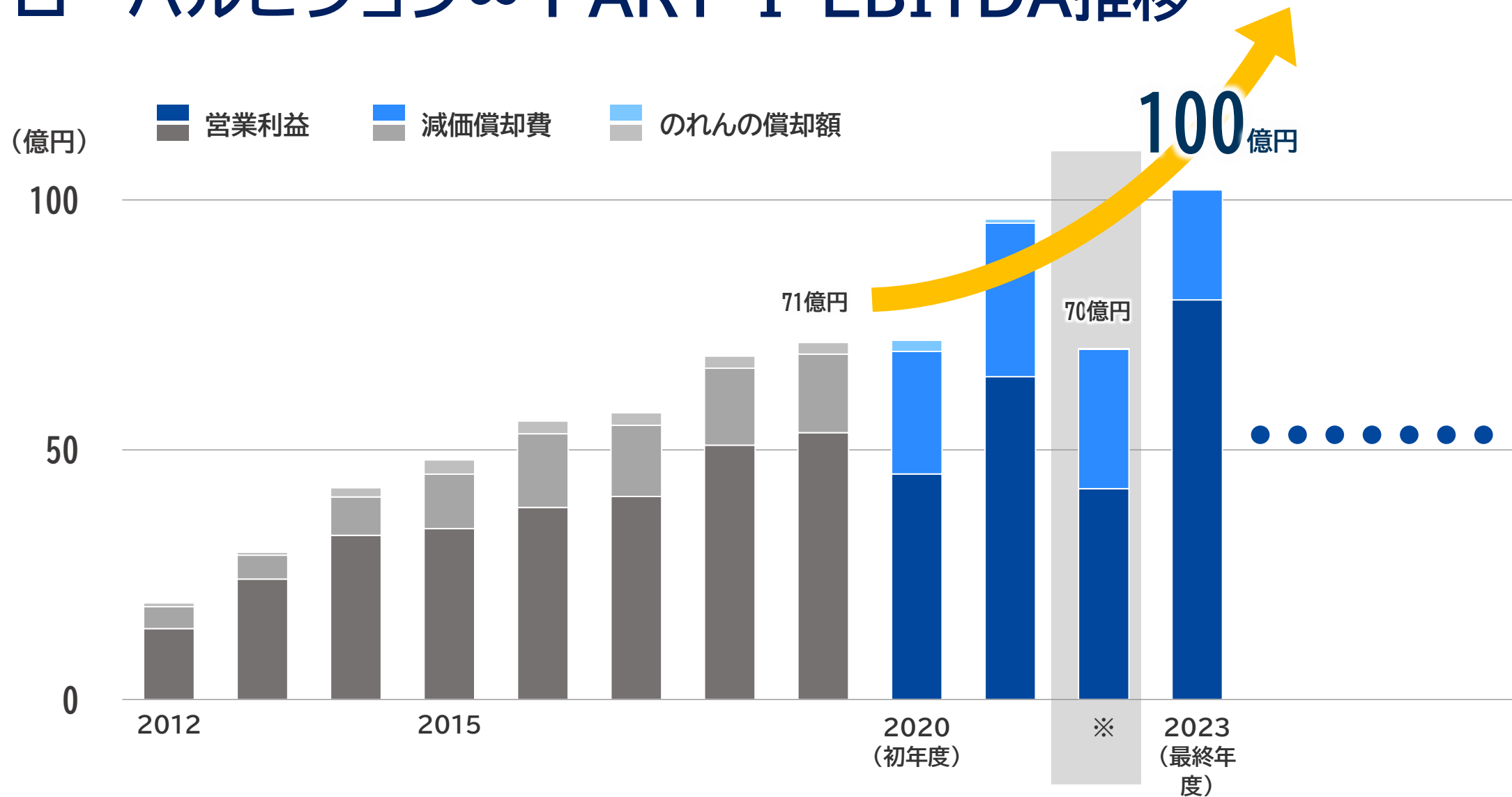


EBITDA	計画	2019	2020 (初年度)	2021 (2年度)	2022* (3年度)	2023 (最終年度)
	実績	—	71億円	71億円	96億円	70億円
		—	71億円	76億円 (81億円)	88億円 (81億円)	100億円 (110億円)



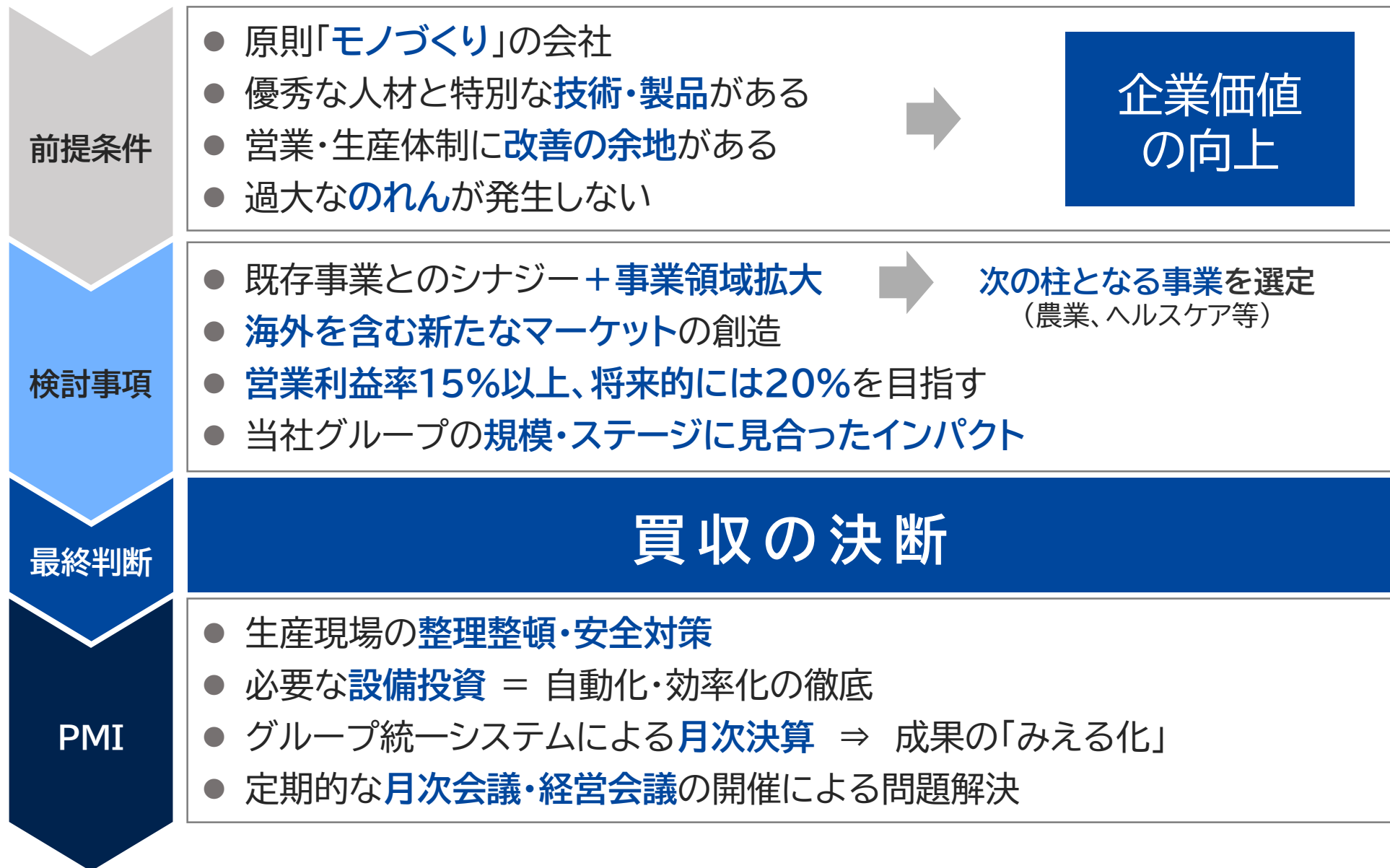
※()は変更後計画
 ※2022年6月期は、決算期変更により当初目標の12か月間から9か月10日間に変更されております。

グローバルビジョン∞ PART I EBITDA推移



※2022年6月期は、決算期変更により当初目標の12か月間から9か月10日間に変更されております。

グローバルビジョン∞ PART I (M&A基本方針)



グローバルビジョン∞ PART I (ネットワーク拡充)



BBS Motorsport GmbH
BBSジャパン(株)ドイツ子会社

MAEDA KOSEN VIETNAM
(前田工織ベトナム有限会社)

BBS(ドイツ)

- **アフターマーケット**向け営業力強化
⇒ アジア、米国、欧州に営業拠点設置
- 従来の英国、ドイツ以外の海外自動車メーカーへの**OEM供給先拡大**
- **ドイツ子会社の設備投資**による業容拡大

前田工織ベトナム

- **製造拠点の増強**
⇒ **さらなる新工場(第6)増設**を計画
- 生產品目の多品種化
- **アセアン諸国**への営業強化
⇒ 海外代理店網の拡大(業務提携)



5

会社概要

企業情報

(2022年12月31日現在)

会 社 名	前田工織株式会社
所 在 地	福井県坂井市春江町沖布目第38号3番地
代 表 者 名	代表取締役会長 前田 征利 / 代表取締役社長 前田 尚宏
創 業	1918年(大正7年)
設 立	1972年(昭和47年)
決 算	6月30日
従 業 員 数	1,595人(役員、嘱託・パート、実習生、派遣を含む)
資 本 金	3,472百万円
発 行 済 株 式 数	32,260,200株(うち自己株式 700,549株)
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所プライム市場(証券コード:7821)
単 元 株 数	100株
株 主 総 数	3,303名

前田工織 は **混**ぜる会社です

「人」と「技術」を混ぜる会社です
混ぜると 化学反応が 起きるのです
「イノベーション」は化学反応の「果実」

世界一のイノベーターを目指し
社会のあるべき姿 人間のあるべき姿を
追い求めていきます

企業理念

基本理念

人と人との良いつながりが
すべての基本であり目標です。

経営理念

私たちは 独自の知恵と技術で
持続可能な地球 そして
安心・安全で豊かな社会を創るために
貢献してまいります。

行動理念 【MDK五徳】と【仁】

【知行合一】

1. 人も企業も「真っ直ぐ」生きよう。

義

2. 失敗を恐れず、無限[∞]の可能性に挑戦しよう。

勇

3. 現場へ出て、本質を見抜き、本気で変えよう。

信

4. どこにもないモノを、どこにもない方法で、創り出そう。

智

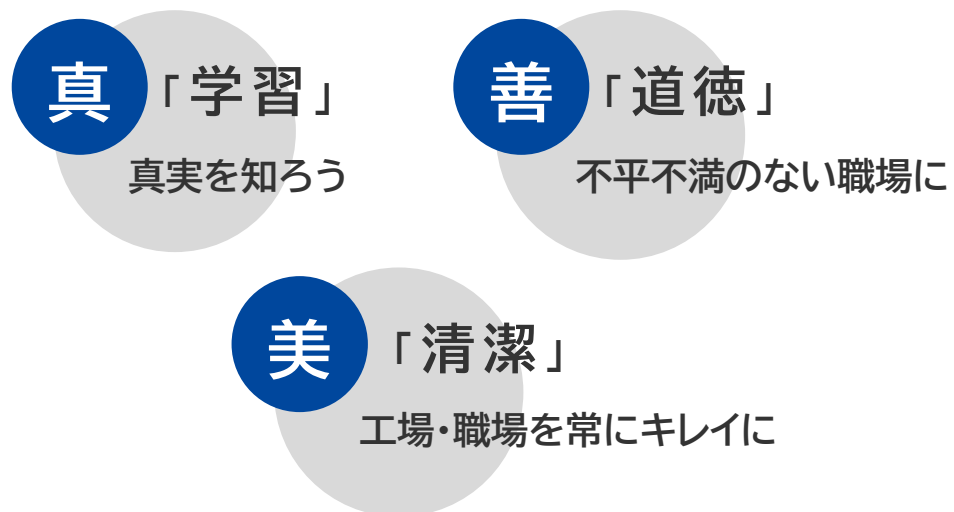
5. 人も企業も学び続けよう。

礼

行動指針・判断基準

行動指針

「真・善・美」の整った会社(組織)づくりへ

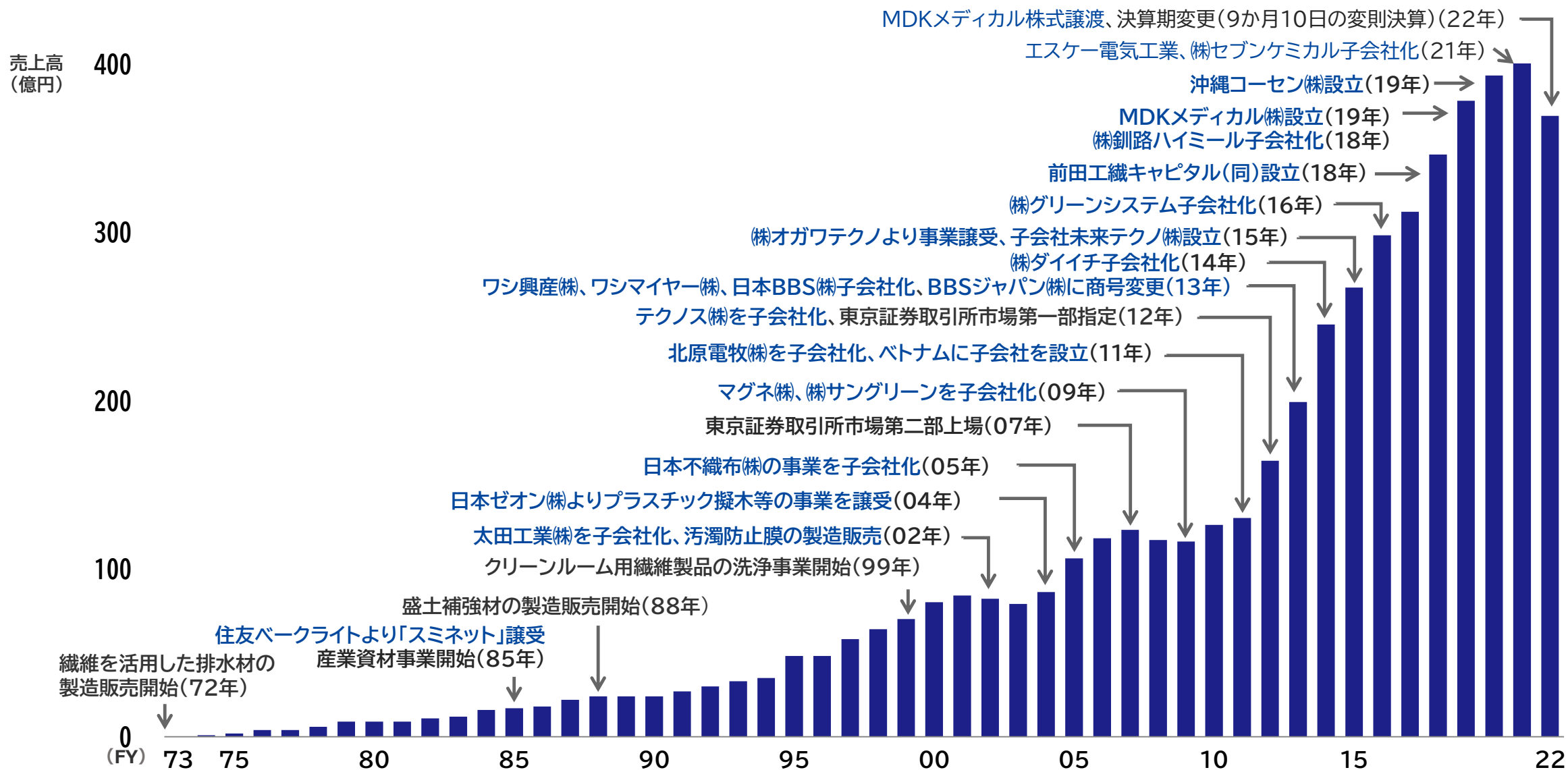


判断基準

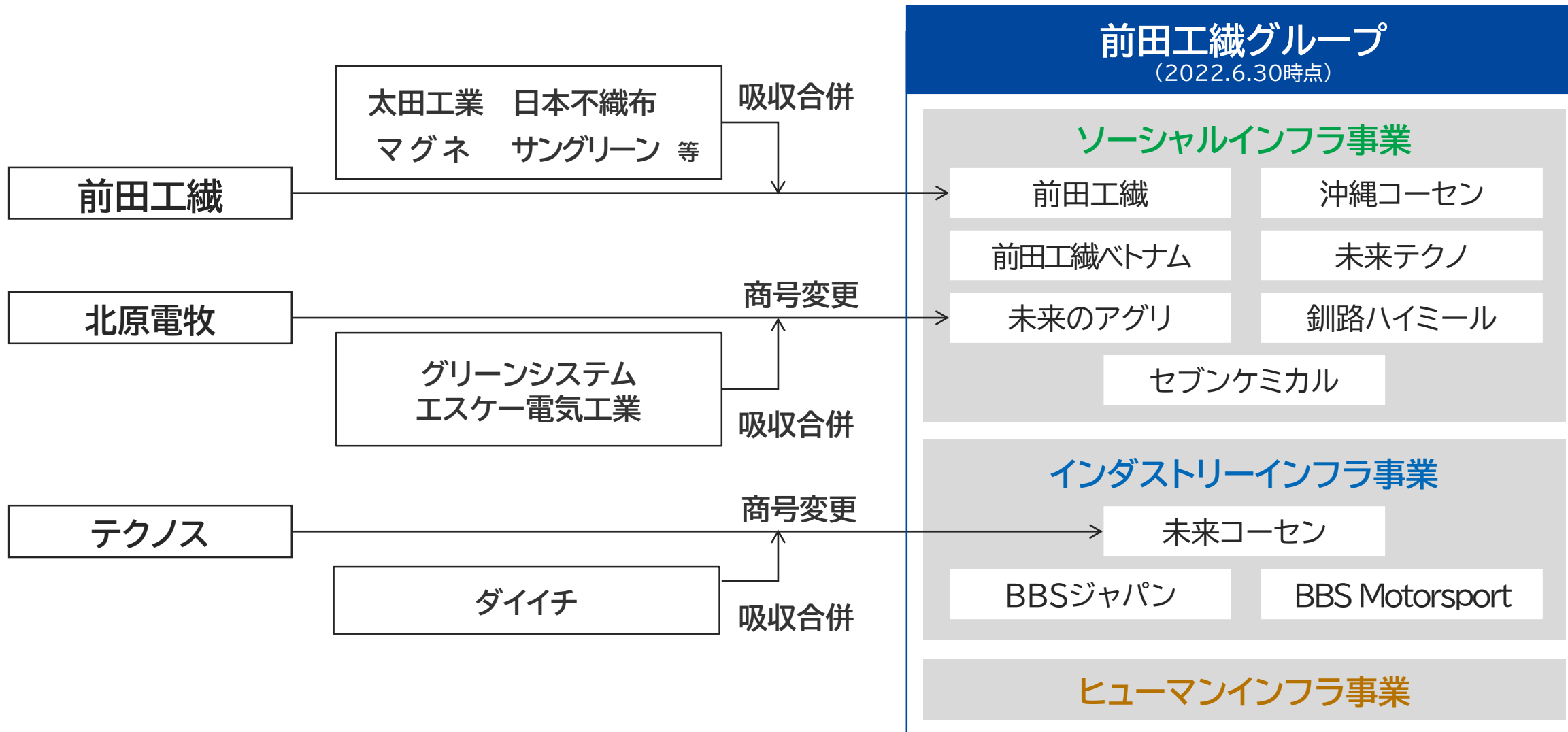
「SSLQDC」～ この優先順位で判断・行動しよう ～

Safety	人の安全と健康
Society	地域社会への貢献
Law	法令順守・コンプライアンス・環境保全
Quality	品質・信頼性
Delivery	納期厳守
Cost	コスト削減

事業沿革と売上高推移



前田工織グループの変遷



ネットワーク(国内)

前田工織(単体) 事業所:14拠点/工場:6ヶ所

福井県

福井本社・本社工場

丸岡工場
鯖江工場
坂井工場

未来コーセン
本社・福井工場
武生工場

北陸(福井除く)

新潟支店
金沢営業所

BBSジャパン
本社・高岡工場
小矢部工場
四日市工場

未来コーセン(株)
金沢工場

中国・四国

広島支店
岡山事務所
四国支店

九州・沖縄

福岡支店
鹿児島事務所

沖縄コーセン

中部・近畿

名古屋支店
大阪支店
西宮工場
能登川工場

東北

仙台支店
盛岡営業所

未来テクノ 工場

未来のアグリ 福島本社

関東

東京本社

未来テクノ 東京本社

セブンケミカル
本社
埼玉工場

BBSジャパン 東京本社

前田工織キャピタル合同会社 東京本社

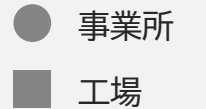
北海道

札幌支店

未来のアグリ

札幌本社
千歳工場
エスケー苫小牧営業所

釧路ハイミール 本社



ネットワーク(海外)



BBS Motorsport GmbH
BBSジャパン(株) ドイツ子会社



MAEDA KOSEN VIETNAM CO., LTD.
(前田工織ベトナム有限会社)



本資料お取り扱い上のご注意

- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。
- 本資料を作成するにあたっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- 本資料中の業績予想ならびに将来予想は本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご了承ください。

本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先

前田工織株式会社 業務企画部

TEL:0776-51-9577 / URL:<https://www.maedakosen.jp>